

学校だより

東京都立北特別支援学校

令和6年9月30日発行

10月号

校長 小池 巳世

1月に起きた能登半島地震で災害を受けた方々に追い打ちをかけるように、先日同じ地域で大規模水害が発生し、続けて被害にあわれた方々の気持ちや生活を思うと本当に心が痛みます。8月に初めての南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が出され、直後に台風7号の接近、上陸があり、同時に異なる災害が発生することがあり得るのだと、あらためて認識させられました。発生原因が全く異なる複数の自然災害が偶然重なることを表す「複合災害」という言葉も聞くようになりました。「複合災害」には、地震後の津波による被害のように自然災害現象が連鎖的に別の自然災害現象を引き起こし、被害が拡大するという使い方もあるそうです。今回は夏休み中でしたので、保護者の方に連絡することはありませんでしたが、学校のある時だったらどのような対応が必要かということを会議で検討したり、ちょうど学校閉庁期間だったので、今後の管理職の休暇等の取り方についても確認したりしたところでした。各御家庭では、これらのことを経験して備えなどを変えたことはあったでしょうか。

8月19日に全国肢体不自由特別支援学校PTA・校長会合同研究大会「石川大会」に参加してきました。仕事の関係で直接聞くことができなかったのですが、翌日に行われた会員研修の講師であった いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの ソーシャルワーカー 中本富美 さん の資料の中に「能登半島地震を経験した家族の声」というものがあり、特に気になった項目を一部紹介します。

- ・1回目の警報から2回目の警報までは1分。短い時間で自宅からの脱出は無理、自宅にいた。
- ・スマホも持たずに靴も履かず、子どもを抱えて外へ
- ・声をかけてもらって、荷物を持ってくれる人がいてくれるおかげで避難できた。
- ・荷物が多すぎて大変
- ・特殊ミルクや日常の物品等備え不足
- ・薬が足りなくて困った（物品が不足して困った）
- ・外出中に被災する可能性もあるので実家、自宅以外にも備えが必要
- ・断水の時の対応（知識）簡易トイレの使い方
- ・帰省中で福祉避難所は把握していない
- ・お正月 福祉避難所が開設されていなかった
- ・福祉避難所が決まっていってもたどり着けない

家庭ならではのものもありますが、障害のある人（在校生を含む）の福祉避難所の役割も担う本校の備えに向けて大変参考になる内容でした。私ごとですが、7月末の東京に連日熱中症警戒アラートが出ている時に家のエアコンが故障し、2日間ホテルに避難するということがありました。災害時と違い電気は通っているので、冷蔵庫、扇風機等は使えましたが、数時間エアコンのない部屋で過ごただけで軽い熱中症のような状態になり、その後頭痛が続きました。7月の宿泊防災訓練では、自動車会社の協力で自動車による非常電源の確保の試みを行いました。災害時の電気や水道等の確保は本当に大きな課題だと身をもって知りました。災害時に必要な備えについて、情報や対応策などを関わる人の中で共有していかなければと強く思った夏でした。

学校便り別紙

中1 宿泊防災訓練報告

7月12日（金）～13日（土）に、一泊二日宿泊防災訓練を行いました。中学部1年生の生徒8名が参加し、『初期消火訓練』『停電訓練』『地震についての講話』『食事訓練』『引き渡し訓練』等を行いました。講話では、震災が起きた際には、不便な生活を余儀なくされるという事実から、自分自身を守り、みんなと協力し合うことの大切さや、非常時に避難所まで行くことや、危険な建物の周囲から離れることなどを学びました。また、災害時の簡易トイレを設置し、実際に見たり、座ってみたりして、貴重な体験をしました。今後も、王子消防署、北区防災課と連携しながら、「安全・安心」な学校を目指していきます。

文化祭のお知らせ 11月1日（金）、2日（土）開催

体育館で小3年・小6年・中3年・高3年が舞台発表を行います。その他の学年の児童・生徒も、各教室などで学習発表を行います。児童・生徒が積み重ねた学習の成果をぜひ御覧ください。

また、展示スペースでは授業で作った作品の展示など行います。詳しくは、別紙「文化祭の御案内」を御覧ください。（今年度もオンライン配信は行いません）

個別面談のお知らせ

10月2日（水）より10月31日（木）まで、個別面談を実施します。面談ではお子さんの家庭等での様子、学習の進捗、個別指導計画について話し合う機会となります。

また、保護者の皆様からの御質問や御意見もお聞きすることができますので、ぜひお気軽にお話してください。